



食の未来づくり運動

～「びん再使用ネットワーク」設立30周年記念イベント～

リユースびんの社会普及を目指して

開催 2024年6月29日 **会場** 連合会館 (千代田区)



東都生協の「リユースびん」は現在6種類

びん再使用ネットワークは、ごみ問題解決を目指し「リユースびん」の規格統一と普及を推進する生協団体のネットワークとして1994年に設立され、今年度30周年を迎えました。東都生協、パルシステム連合会、グリーンコープ連合会、生活クラブ連合会が参加し、30年の歩みを一緒に祝いました。

記念スピーチの最初に登壇したのは、テラサイクルジャパン兼Loop Japan合同会社のエリック・カワバタ代表。『捨てるという概念を「捨てる」リユースの取組み』と題して、食品から日用品などさまざまな容器をリユースする企業間連携の事例を紹介しました。次に清掃員としても働くお笑いコンビ・マシンガンズの滝沢秀一さんが、清掃員の視点で撮影した映像を使って正しいごみの分別方法をユーモアたっぷりに解説し、会場は大いに盛り上がりました。

4生協をつなぐリレーメッセージでは東都生協からは根岸忍理事が「びん再使用ネットワークと共に歩んだ東都生協30年の活動 2030年目標に向けた取組み」を報告。1994年に共同作業所全国連絡会(きょうされん)と東都生協との共同事業で設立した「リサイクル洗びんセンター」でリユースびんを洗い、繰り返し使用するという、福祉と環境の二つの大きな取組みを続けていることなどを紹介しました。



リレーメッセージでの
根岸忍理事



ごみ清掃芸人「マシンガンズ」
滝沢秀一さん

社会福祉法人きょうされん

設立30周年記念式典が開催されました

開催 2024年7月27日 **会場** フォレスト・イン昭和館(昭島市)



パネルディスカッションの様子と感謝状

東都生協とつながりが深い「社会福祉法人きょうされん」の法人設立30周年とリユースびんの洗浄などを行っている「リサイクル洗びんセンター」(昭島市)も開設30周年を迎え記念式典が開催されました。

東都生協からも風間与司治理事長をはじめ理事、地域コーディネーターが参加し、盛大に30周年をお祝いしました。社会福祉法人きょうされんの藤井克徳理事長より感謝状をいただきました。

『リユースで描く持続可能な未来』と題したパネルディスカッションには、東都生協から石渡由美子副理事長がパネリストとして参加し、東都生協ときょうされん(設立当時：共同作業所全国連絡会)とのリサイクル洗びんセンター設立への経緯やこれまでのリユース活動、これからの取組みについて報告しました。

障害のある人が働く場づくりを目指したきょうされんと、東都生協の環境保全への思いが一つになりスタートした共同事業は、全国初の画期的なものでした。

東都生協は設立に向けた募金を呼び掛け、組合員や関係団体の熱意と善意で、5,000万円以上の募金を達成しました。また、多くの団体、行政、企業などの理解・協力もあり、1994年にリサイクル洗びんセンターが設立され、社会福祉と環境保全、障害種別を超えて一緒に働ける場が実現しました。

東都生協のリユースびんは現在、約70%の回収率にとどまっています。さらにリユースを進め80%以上の回収率を目指します。皆さんも一緒に取り組みましょう。



「おめでとう」の
メッセージが書かれた
カップタワー



行動目標
1 食料自給率
の向上

行動目標
2 日本
の農業を
元気に

行動目標
3 持続可能な
社会に向け

「1人が5人に地域で、
食の未来づくり運動」を伝え、
その輪を広げよう

今月の
つばやき

「MOGMOG」がリニューアルした昨年の10月号から担当し始めて、あっという間に1年以上が経ちました。読者の皆さん、毎号たくさんのご意見や感想などを本当にありがとうございます。温かいコメントやクスッと笑えるエピソードなどに元気をいただいています。これからも「MOGMOG」をどうぞよろしく願います。(Y.H)

お問い合わせ

産地直結ひとすじ。いちばん頼れる生協に。

共同購入事業部 組合員活動推進グループ
☎03(5374)4756 月曜～金曜日：午前9時～午後4時
E-mail: kumikatsu@tohto.coop
〒156-0055 東京都世田谷区船橋5-28-6 吉崎ビル4階

